

## 2008年1月22日開催 第524回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 神谷徹委員 黒田勇委員  
東野博昭委員 藤原健委員

### ■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務  
三村制作局長 木田コンプライアンス室長  
西岡ラジオ局長 坂井プロデューサー

## ◆ ラジオ番組「MBSどっと!アナ」

12月27日(木) 18:30~21:00 放送分など

第524回番組審議会は1月22日に開かれ、ラジオ番組「MBSどっと!アナ」を審議しました。

毎日放送の中堅・若手のアナウンサーらがパーソナリティーを務める火～日の夜6時台からの帯番組。曜日ごとに出演者がかわりますが、大月アナウンサーと木村明浩(バッファロー吾郎)の木曜日放送分を中心に審議しました。

委員の主な意見は次の通り。

\*リスナーの気持ちをどれだけ番組に反映させながら、聞き耳を立てさせる仕掛けになっているか。電話等で生の声を聞いてリスナーの気持ち、人格をうまく引き出していけば、おもしろい番組になる。

\*古い演歌、トレンド情報、芸能関係の話題、1冊の総合雑誌のようにいろいろなジャンルのことがうまく入っていて充実した番組。中身のバランス感がよく安心して聞けた。

\*出演者のトークが情報不足、うんちくがないまま語っていて楽屋話のようだ。  
ジャーナリズム感覚、さまざまに今をとらえる感覚をいつも持ってほしい。

\*“ながら聴取”のラジオは聞きやすいということが大事だと思うが、しゃべり方も含めて、声の質とか、関西弁のイントネーションとか、この番組には心地よさ、ほっとする感じがある。

\*子どものいるお母さんアナウンサー同士のトークなど、アナウンサーのキャラクターを売り出すという狙いはいいが、自分の身近なネタだけではなく、何を情報発信するかということ意識してほしい。

\*「空疎なおしゃべり」と「豊かな語り」とは違う。よく準備せず思いつきで自分の身の周りのことをしゃべる「空疎なおしゃべり」から、聞いてよかったという思いが残る「豊かな語り」に近づいてほしい。

◆昨年11月に鳥取県米子市で開かれた「JNN系列近畿中四国合同番組審議会」について委員長が報告しました。